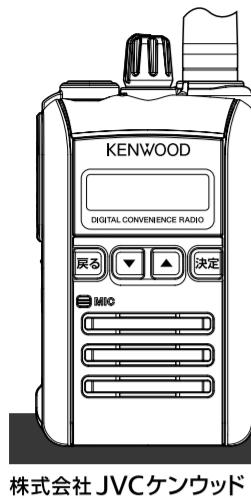


TCP-D151C  
TCP-D251CVHF デジタル簡易無線電話装置(免許局)  
UHF デジタル簡易無線電話装置(免許局)

## 取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。  
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。  
読みみになつた場合は、いつでもおられる場所に保管してください。

本機は日本国内専用のモデルですので、国外で使用することはできません。



株式会社 JVCケンウッド

BSA-0945-40 (J)



## 株式会社 JVCケンウッド

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12

- 商品および商品の取扱いに関するお問い合わせは、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターをご利用ください。

- 修理などアフターサービスについては、弊社ウェブサイトをご覗いただくなさい。

<http://www.kenwood.com/jp/cs/service.html>

## JVCケンウッドカスタマーサポートセンター

固定電話からは、フリーダイヤル

0120-2727-87

携帯電話・PHSからは、ナビダイヤル

0570-010-114

一部のIP電話など、フリーダイヤル、ナビダイヤルがご利用になれない場合は

045-450-8950

FAXを送信される場合は

045-450-2308

住所 〒221-0022

神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12

受付日 月曜日～土曜日（祝祭日および、弊社休日を除く）

受付時間 月～金曜日 9：30～18：00

土曜日 9：30～12：00、13：00～17：30

## 安全上のご注意

## 絵表示について

この「安全上のご注意」には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。ご使用の際には、下記の内容（表示と意味）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

- △危険** この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
- △警告** この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
- △注意** この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

## 絵表示の例

- △** 記号は、注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の近くに具体的な注意内容を示しています。
- 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）を示しています。
- 記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをACコンセントから抜く）を示しています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合、またはこの製品の使用によって受けられた損害につきましては、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

## △危険

## 使用環境・条件

**△** 引火、爆発の恐れがありますので、プロパンガス、ガソリンなどの可燃性ガスの発生するような場所では使用しないでください。

**△** 運転しながら本機を操作（通話）するのをおやめください。安全な場所へ車を停車させてから操作（通話）してください。

## 充電池（バッテリーパック）の取扱いについて

充電池は下記のことをお守りいただけない場合、けがや電池の漏液、発火、発熱、破裂させる原因となります。

**△** 充電池を電磁調理器の上に置いたり、電子レンジや高圧容器に入れないでください。

**△** 充電温度範囲は、5°C～40°Cです。この温度範囲以外では充電しないでください。

**△** 専用充電台以外では充電しないでください。

**△** 本機以外の機器に取付けないでください。

**△** 火の中に投入したり、加熱したり、ハンダ付けたり、分解しないでください。

**△** 端子を針金などの金属類でショートさせないでください。また、ネックレスやヘアピンなどの金属物と一緒に持ち運んだり、保管しないでください。

**!** 液が目に入りましたときは、失明のおそれがありますので、こすらずに、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。

**!** 液が皮膚や衣服に付着したときは、皮膚に障害を起こすおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。

## △警告

## 使用環境・条件

**△** 電子機器（特に医療機器）の近くでは使用しないでください。電波障害により機器の故障・誤動作の原因となります。

**△** 空港施設、鉄道施設、港湾、病院などの管理区域内に指定されている場所での無線機器の使用については、各施設管理者にお問い合わせ、ご確認した上でご使用ください。

**△** 本機を使用できるのは、日本国内のみです。国外では使用できません。

## 使用方法について

**△** エアパック装置の近くに無線機を置かないでください。エアパック装置が動作したときなど無線機が体に当たって怪我をすることがあります。

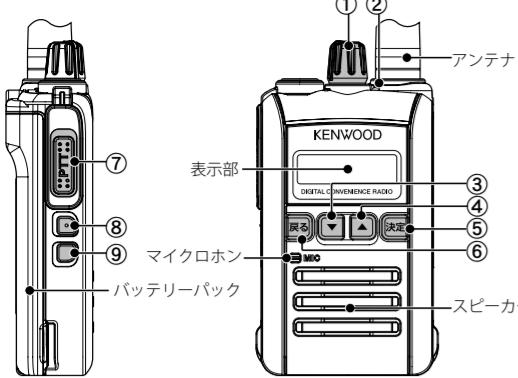
**△** 機械に巻き込まれる恐れのある場所では、スピーカーマイクロホンなどのケーブルを首にかけないでください。怪我の原因となります。

**△** 本機の近くに小さな金属物や水などの入った容器を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電・故障の原因となります。

**△** バッテリーパックを置かないでください。火災・感電・故障の原因となります。

# 各部の名称と機能

## 操作キー/ツマミ



①【電源/音量】 電源のON/OFF、および音量を調節します。

② 送受信LED

送信時は赤色に点灯します。受信時は緑色に点灯します。  
選択呼出し受信のときは橙色に点滅します。

③【▼】

● 押すとチャンネル番号が下がります。  
● 押し続けると、押ししている間連続してチャンネル番号が下がります。

④【▲】

● 押すとチャンネル番号が上がります。  
● 押し続けると、押ししている間連続してチャンネル番号が上がります。

⑤【決定】

● 押すと簡易メニューを表示します。  
● 押し続けるとキーロック機能がON/OFFします。

⑥【戻る】

押している間、現在のチャンネルをモニターします。

⑦【PTT】

押すと送信します。押したままマイクロホンに向かって話します。

⑧【サイド1】

押し続けると送信出力が切り替わります。

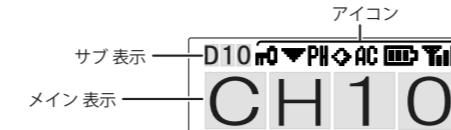
⑨【サイド2】

出荷時は機能が設定されていません。

◆ 各キー動作機能は出荷時の設定です。販売店でのオプション設定により、動作機能は変更できます。

◆ 選択呼出し機能を使用するには販売店にて設定が必要です。

## 表示部



### サブ表示

表示チャンネルの状態などを表示します。

### メイン表示

チャンネル番号やメッセージなどを表示します。

### アイコン

アイコン	説明
T	受信している電波の強さを表示します。 T: 強 T: 中 T: 弱 T: 微弱
B	バッテリー容量の残量を表示します。 B: 高 B: 中 B: 低 B: (点滅): 充電
S	点灯: スキャン中。 S: 点滅: スキャン中停止。
O	秘話機能がONのときに表示します。
H	送信出力を表示します。 H: ハイパワー出力(5W) L: ローパワー出力(1W)
V	セミ VOX 機能がONのときに表示します。
M	イヤホンモードがONのときに表示します。
A	音量アッテネート機能がONのときに表示します。
PTT	PTTホールド機能がONのときに表示します。
#2	セカンドPTT機能がONのときに表示します。
MONITOR	モニター機能がONのときに表示します。
▼	表示しているチャンネルがスキャン対象のときに表示します。
✉	メッセージの受信履歴(スタックデータ)を表示します。 点灯: 受信履歴に既読のメッセージがあります。 点滅: 受信履歴に未読のメッセージがあります。
P	プライオリティチャンネルが設定されているときに表示します。
SAILENT	サイレントアラーム機能がONのときに表示します。
FLASH	サイレントアラーム動作中に受信があったときに点滅します。

### アイコン表示位置

アイコンは下記のように7列に表示されます。また、上位列のアイコンほど表示の優先度が高くなります。



◆ 各アイコンは、販売店にて機能が設定されている場合に表示されます。

# 操作のしかた

## 通話する

1 【電源/音量】を右(時計方向)に回して電源を入れる  
「ピーッ」と鳴って電源が入ります。電源を切るには【電源/音量】を「カチ」という音がするまで左(反時計方向)に回します。

2 【▲】/【▼】を押してチャンネルを合わせる



相手局の電波を受信すると、送受信LEDが緑色に点灯し、スピーカーから受信音が聞こえます。

3 【電源/音量】を回す

右(時計方向)に回すと音量が大きくなり、左(反時計方向)に回すと音量が小さくなります。

4 【PTT】を押す

送信状態になり、送受信LEDが赤色に点灯します。

● 他の送信している無線局がないことを確認してから送信してください(送受信LEDの緑色が消灯していること)。

● 使用できるチャンネルや表示されるチャンネル名は、設定により異なります。設定内容については販売店にお問い合わせください。

● TCP-D151Cは、データ専用チャンネルでの音声通話はできません。

● 通信は免許状に記載された無線局の目的、通信の相手方、通信事項の範囲を超えないでください(非常通信など電波法で定める場合を除く)。

5 マイクロホンに向かって話す

【PTT】を押し続けながら話します。マイクロホンは口元から3~4cm程度離してください。【PTT】を離すと待受受信状態に戻ります。

◆ 他の送信している無線局がないことを確認してから送信してください(送受信LEDの緑色が消灯していること)。

◆ 使用できるチャンネルや表示されるチャンネル名は、設定により異なります。設定内容については販売店にお問い合わせください。

◆ TCP-D151Cは、データ専用チャンネルでの音声通話はできません。

◆ 通信は免許状に記載された無線局の目的、通信の相手方、通信事項の範囲を超えないでください(非常通信など電波法で定める場合を除く)。

◆ 大きな声で話したり、マイクロホンとの距離が近すぎると、明瞭度が低下する場合があります。

## バックライト

キーを操作すると表示部と前面キーの照明が5秒間点灯します。

## タイムアウトタイマーについて

連続送信を自動的に停止する機能です。本機は、連続して5分以上の送信はできません。5分以上送信を続けると警告音が鳴り、送信が停止します。この場合1分以上経過しないと再度送信することはできません。

## 出荷時に設定されている機能

### 送信出力切り替え

送信出力をハイパワー(5W)からローパワー(1W)に切り替えます。

● 【サイド1】を押し続ける

送信出力をローパワー(1W)に下がります。ローパワーのときに【サイド1】を押し続けると、送信出力がハイパワー(5W)に戻ります。

● ハイパワー時は[H]が、ローパワー時は[L]アイコンが表示されます。

### キーロック

操作キーをロックし、ポケットなどに入れているときの誤操作を防ぎます。

● 【決定】を押し続ける

キーがロックされます。キーロック時は、「[R]」アイコンが表示されます。キーロック中にキーを操作すると「ロック中」と表示されます。



キーロックしているときに【決定】を押し続けると、キーのロックが解除されます。

# 操作のしかた(続き)

## メニュー モード

いろいろな機能をメニュー形式で実行/設定するモードです。

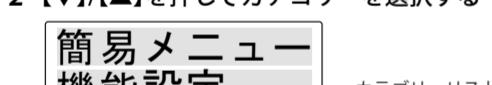
### メニューの表示

1 【決定】を押す

メニュー モードに入り、カテゴリーリストが表示されます。

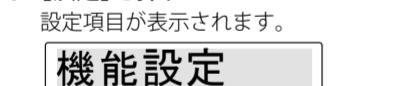


2 【▼】/【▲】を押してカテゴリーを選択する

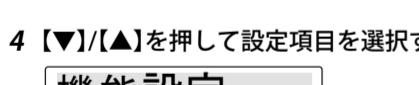


3 【決定】を押す

設定項目が表示されます。



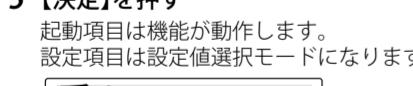
4 【▼】/【▲】を押して設定項目を選択する



5 【決定】を押す

起動項目は機能が動作します。

設定項目は設定値選択モードになります。



6 【▼】/【▲】を押して設定値を選択する

7 【決定】を押す

設定値が確定して、設定項目表示に戻ります。

8 【戻る】を押す

カテゴリー リストに戻ります。

9 【戻る】を押す

チャンネル表示に戻ります。

◆ カテゴリーが1つの場合は、手順8でチャンネル表示に戻ります。  
◆ メニューは最大8つのカテゴリーに分類されますが、カテゴリーが1つしか設定されていない場合は、直接設定項目が表示されます。

◆ 表示されるメニューの項目やカテゴリーは設定により異なります。設定内容および機能の詳細や操作については、販売店にお問い合わせください。

## メニュー 設定項目

表示	項目
D R 1 選択	ダイレクトチャンネル1に設定
D R 2 選択	ダイレクトチャンネル2に設定
D R 3 選択	ダイレクトチャンネル3に設定
D R 4 選択	ダイレクトチャンネル4に設定
D R 5 選択	ダイレクトチャンネル5に設定
マイクタイプ	外部マイクロホンタイプ
固定音量	固定音量
グループ呼出	グループ呼出
グループ+D	グループ+ステータス
グループ+M	グループ+SDM(ショートデータメッセージ)
個別呼出	個別呼出
個別+D	個別+ステータス
個別+M	個別+SDM(ショートデータメッセージ)
ローパワー	送信出力(ローパワー)
メンテ	メンテナンスモード
モニター	モニターON/OFF
優先CH	プライオリティチャンネルに設定
PTT HOLD	PTTホールドON/OFF
受信音特性	受信オーディオコライザー
受信A G C	自動音量制御
スキャン	スキャン
スキャン対象	スキャン対象(チャンネル)
秘話	秘話ON/OFF
秘話鍵名	秘話鍵リスト番号
サイレント	サイレントアラーム
受信履歴	受信履歴
ステータス	ステータス
メッセージ	メッセージモード
パスワード	無線機パスワード
送信音特性	送信オーディオコライザー
送信A G C	自動マイケイング制御
一括 UC	一括UC
セミ VOX	セミVOX ON/OFF
VOX 感度	セミVOXマイク感度
イヤホン切替	イヤホンモード
縦倍角設定	縦倍角メニュー表示
自動液晶照明	自動バックライト
2nd PTT CH	セカンドPTTチャンネル
2nd PTT BEEP	セカンドPTTビープ音
2nd PTT TIME	セカンドPTTスキャン再開時間
外マイク感度	外部マイク感度
内マイク感度	内部マイク感度
全初期化	全設定初期化

## PF(プログラマブルファンクション)

販売店のオプション設定により本機のキーに下記機能などが設定できます。  
<設定できる機能の詳細や操作については販売店にお問い合わせください。>

● なし

● バックライト

● ワンタッチコール

● チャンネルアップ/ダウン

● 最終受信チャンネル(スキャン)

● ダイレクトチャンネル

● エマージェンシー

● 外部マイクロホンタイプ

● 選択呼出し設定

● ステータス